

政策目標 2

安全・安心で快適なまち

第四次総合計画 第十次基本計画・実施計画（目的指向体系表）

政策目標	2	安全・安心で快適なまち
施策分野	1	消防体制の強化
基本計画		安心して住めるまち・安心して泊まれるまちを目指します。

担当課	危機対策課
関係課	—
作成年月日	R3.4.1

1 基本計画の達成状況

基本計画（目標）	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
安心して住めるまち・安心して泊まれるまちを目指します。	消防団員数	目標値	506人	506人	506人	506人	506人	危機対策課
		実績値	506人	506人	506人	506人	502人	
指標の達成度 《今年度実績評価》	人口が減少している地域の消防団員数が4人減少し目標値を達成できなかったことから、地域の実情を聞き取り、消防団員の待遇・活動環境の向上を図り、条例定数維持につなげていく。							

2 目標を達成するための具体的な方策の進捗状況

目標を達成するための具体的な方策	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
O1 広域常備消防との連携強化	広域常備消防との会議数	目標値	4回	4回	4回	4回	4回	危機対策課
		実績値	7回	7回	7回	6回	5回	
O2 消防団の充実強化・活性化対策の推進	消防団協力事業所への新規登録数	目標値	1事業所	1事業所	1事業所	1事業所	1事業所	〃
		実績値	4事業所	7事業所	0事業所	6事業所	3事業所	
O3 消防活動支援員の充実強化	活動支援員への新規登録数	目標値	10人	10人	10人	10人	10人	〃
		実績値	10人	10人	0人	0人	0人	
O4 消防水利の充実強化	充足率	目標値	100%	100%	100%	100%	100%	〃
		実績値	—	—	—	75.6%	—	
指標の達成度 《今年度実績評価》	O1 会議数は目標に達していることから、引き続き常備消防と連携を図り、情報共有（会議等）を行っていく。							
	O2 事業所の新規登録数は目標に達していることから、引き続き新規登録事業所の確保に向けた広報等を行っていく。							
	O3 新規登録者がいないことから、活動支援員の重要性について全ての地域の消防団員OB等に理解していただき、新規登録者確保につなげていく。							
	O4 駿東伊豆消防本部伊東消防署にて実施する消防施設整備計画実態調査の数値を記入するため、現時点では未算出である。（令和元年度充足率75.6%、次回調査は令和4年度）							

3 具体的な方策を構成する手段の進捗状況

O1 広域常備消防との連携強化									
手段（4桁コード）内容	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課	
O101 広域常備消防との合同訓練	訓練回数	目標値	4回	4回	4回	4回	4回	4回	危機対策課
		実績値	4回	4回	5回	4回	3回		
今年度の改善ポイントや重点方向等	秋季消防総合演習（八幡野小学校・南小学校校庭）において伊東消防署隊（常備消防署隊）と、熱海市合同訓練において熱海消防署隊（常備消防署隊）と合同訓練を実施した。 予定していた東伊豆町・伊豆市との合同訓練は新型コロナウイルス感染症拡大防止等の理由により開催できなかった。今後も引き続き、コロナ禍中での開催方法等を検討し、消防団員が安心して参加できる訓練計画の策定、開催に努める。								

O2 消防団の充実強化・活性化対策の推進									
手段（4桁コード）内容	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課	
O201 消防団の資機材等整備	整備数	目標値	4式	4式	3式	3式	3式	3式	危機対策課
		実績値	4式	5式	3式	4式	3式		
O202 消防団の消防ポンプ自動車更新	更新数	目標値	2台	3台	2台	0台	0台	〃	
		実績値	4台	3台	0台	0台	0台		
O203 消防団員の育成	学校派遣人数	目標値	4人	4人	4人	4人	4人	〃	
		実績値	9人	8人	10人	10人	8人		
今年度の改善ポイントや重点方向等	O201 整備数は目標を達成していることから、今後も引き続き計画的な資機材等の整備に努める。								
	O202 更新時期を予定より前寄せしているため、令和2年度の消防ポンプ自動車の更新はしていないが、今後も車両の使用年数等から適正な更新時期を見極め、計画的な更新を進めていく。								
	O203 学校派遣人数は目標を達成していることから、今後も引き続き計画的な団員育成等に努める。								

O3 消防活動支援員の充実強化									
手段（4桁コード）内容	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課	
O301 活動支援員の訓練実施	訓練回数	目標値	2回	2回	2回	2回	2回	2回	危機対策課
		実績値	2回	2回	2回	2回	0回		
今年度の改善ポイントや重点方向等	岡区内において2回の訓練を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の理由により開催を見合わせた。 今後も引き続き、コロナ禍中での開催方法等を検討し、安心して参加できる訓練の開催を働きかける。								

O4 消防水利の充実強化									
手段（4桁コード）内容		管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
O401 耐震性貯水槽の設置	設置数	目標値		1基	1基	1基	1基	1基	危機対策課
		実績値		2基	1基	1基	1基	1基	
今年度の改善ポイントや重点方向等	<ul style="list-style-type: none"> 伊東市川奈地内（市有地内）に100m型1基を設置し、水利希薄地域の解消が図れた。今後も引き続き、水利未整備地域・水利希薄地域の情報収集に努め、計画的な水利整備を実施していく。 								

第四次総合計画 第十次基本計画・実施計画（目的指向体系表）

政策目標	2	安全・安心で快適なまち
施策分野	2	危機管理体制の充実
基本計画		市民の危機管理意識が高く、有事に強いまちを目指します。

主担当課	危機対策課
関係課	教育総務課・建築住宅課・社会福祉課
作成年月日	R3.4.1

1 基本計画の達成状況

基本計画（目標）	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
市民の危機管理意識が高く、有事に強いまちを目指します。	自主防災組織数	目標値	163団体	164団体	166団体	167団体	169団体	危機対策課
		実績値	169団体	168団体	168団体	168団体	168団体	
	発災後の人的被害（死者数）	目標値	0人	0人	0人	0人	0人	〃
		実績値	0人	0人	0人	0人	0人	
指標の達成度 《今年度実績評価》	令和2年度までの実績値には合併による1減を含むことから、目標値に達しているものと捉える。今後は、自主防災組織の体制強化に努めていく。							

2 目標を達成するための具体的な方策の進捗状況

目標を達成するための具体的な方策	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
O1 防災意識の向上	防災講演会参加者数	目標値	500人	500人	500人	500人	500人	危機対策課
		実績値	610人	608人	1,542人	718人	254人	
O2 危機管理体制の強化	発災時の人的被害者数	目標値	0人	0人	0人	0人	0人	〃
		実績値	1人	1人	1人	6人	0人	
O3 情報伝達体制の強化	デジタル化進捗率	目標値	15%	30%	50%	65%	80%	〃
		実績値	7.8%	19.7%	38.7%	50.9%	100.0%	
O4 耐震化の推進	公共建築物の耐震化率	目標値	94.0%	95.5%	97.0%	98.5%	100.0%	〃
		実績値	93.6%	94.2%	94.2%	95.3%	95.8%	
	耐震診断の実施率	目標値	97.0%	98.5%	100.0%	100.0%	100.0%	〃
		実績値	95.9%	95.9%	95.9%	96.4%	96.4%	
O5 避難行動要支援者避難支援計画の推進	避難行動要支援者避難支援計画の個別計画における避難支援者登録割合	目標値	10%	20%	30%	40%	50%	社会福祉課
		実績値	0%	0%	0%	0%	0%	
指標の達成度 《今年度実績評価》	O1 コロナ禍の影響による開催数の減少及び感染拡大防止対策のための参加人数制限などから、目標値を大きく下回ったことから、最新の防災情報とコロナ禍での災害時対応を取り入れ発災時に役に立つ内容となるよう更新し、参加者数の増加を目指す。							
	O2 人的被害者数は目標に達していることから、引き続き、発災時の適切な避難行動について啓発を行うことで、地域防災力の向上を目指す。							
	O3 令和3年2月で同報無線デジタル化が完了したため目標に達していることから、今後は、デジタル化した同報無線が常時正常に運用できるよう保守点検を行うことで適正な管理につなげていく。							
	O4 既に新しい代替施設が完成したり、今後代替施設が建設される予定があるものなどもあるため、実績値が目標に近づかないことから、耐震化未実施棟の原因を究明し、計画の進捗につなげていく。							
	O5 支援者の登録には町内会、自主防災会、民生・児童委員協議会のほか、地域包括、介護支援専門員等の協力が不可欠であり又、本人の同意も必要になるため整備が困難であった。今後は、改正災対法を基に新しい枠組みの構築に努めたい。							

3 具体的な方策を構成する手段の進捗状況

O1 防災意識の向上								
手段（4桁コード）内容	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
O101 市民に対する防災教育	防災講演会参加者数	目標値	500人	500人	500人	500人	500人	危機対策課
		実績値	610人	608人	1,542人	718人	254人	
O102 避難訓練の実施	訓練参加者数	目標値	30,000人	30,000人	30,000人	30,000人	30,000人	〃
		実績値	21,000人	26,009人	22,760人	24,115人	753人	
O103 防災イベントの開催	イベント開催数	目標値	5回	5回	5回	5回	5回	〃
		実績値	5回	5回	5回	4回	1回	
今年度の改善ポイントや重点方向等	O101 最新の防災情報とコロナ禍での災害時対応を取り入れ発災時に役に立つ内容となるよう更新を行う。							
	O102 コロナ禍の状況により、開催方法の変更を検討するなど、市民が安心して参加できる訓練の開催に努める。							
	O103 コロナ禍の状況により、開催方法の変更を検討するなど、市民が安心して参加できるイベント開催に努める。							

02 危機管理体制の強化									
手段（4桁コード）	内容	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
0201	津波避難行動計画の作成	計画作成の進捗率	目標値	100%	100%	100%	100%	100%	危機対策課
			実績値	100%	100%	100%	100%	100%	
0202	他市町及び民間企業との連携	災害時協定締結数	目標値	66件	67件	68件	69件	70件	〃
			実績値	76件	84件	84件	82件	83件	
0203	津波避難協カビルの指定	津波避難協カビルの指定数	目標値	35棟	38棟	40棟	43棟	45棟	〃
			実績値	33棟	36棟	37棟	39棟	39棟	
0204	自主防災組織の育成・強化	資機材交付率	目標値	100%	100%	100%	100%	100%	〃
			実績値	100%	100%	100%	100%	100%	
0205	避難訓練の実施	訓練参加者数	目標値	30,000人	30,000人	30,000人	30,000人	30,000人	〃
			実績値	21,000人	26,009人	22,760人	24,115人	753人	
0206	非常食料の備蓄	非常食料備蓄数	目標値	110,000食	120,000食	130,000食	140,000食	150,000食	〃
			実績値	118,000食	109,000食	95,575食	103,100食	123,125食	
今年度の改善ポイントや重点方向等	0201		計画作成の進捗率は目標に達していることから、策定した計画書の見直しなどが必要な施設に対し、助言や指導を行っていく。						
	0202		災害時協定締結数は目標に達していることから、今後は、協定の実効性を高める協議等に努める。						
	0203		津波避難協カビルの指定数が目標に達していないため、民有・公共建物で指定できる所が無いが、改めて検討していく。						
	0204		資機材交付率が目標に達していることから、引き続き、各自主防災会に不足している資機材の交付を行い、自主防災組織の強化に努める。						
	0205		訓練参加者数が目標を大きく下回ったことから、コロナ禍の状況により、開催方法の変更を検討するなど、市民が安心して参加できる訓練の開催に努める。						
	0206		令和2年度と同様に備蓄食糧の確保に努める。平成29年度に備蓄食糧の目標値を下方修正したことにより、平成30年度から、年間約2万食の確保で推移しており実績値は10万食程度となっている。引き続き、備蓄数の維持を図っていく。						

03 情報伝達体制の強化									
手段（4桁コード）	内容	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
0301	同報無線のデジタル化	デジタル化進捗率	目標値	15%	30%	50%	65%	80%	危機対策課
			実績値	7.8%	19.7%	38.7%	50.9%	100%	
0302	防災無線施設の保守点検	適正な保守点検実施率	目標値	100%	100%	100%	100%	100%	〃
			実績値	100%	100%	100%	100%	100%	
0303	メールマガジン登録推進	メールマガジン（防災情報）登録者数	目標値	10,000人	10,500人	11,000人	11,500人	12,000人	〃
			実績値	10,300人	10,764人	9,248人	8,942人	10,176人	
0304	防災情報伝達手段自動連動化	自動連動化率	目標値	0%	0%	100%	100%	100%	〃
			実績値	0%	0%	100%	100%	100%	
今年度の改善ポイントや重点方向等	0301		デジタル化進捗率は目標に達していることから、デジタル化した同報無線が常時正常に運用できるよう保守点検を行うことで適正な管理につなげていく。						
	0302		適正な保守点検実施率は目標に達していることから、引き続き、防災無線施設が常時正常に運用できるよう保守点検を行うことで適正な管理を図る。						
	0303		メールマガジンの有用性をアピールしてきた効果から、登録者数は昨年より1,000人以上増加しているが、目標には達していないため、引き続き、災害時の情報取得ツールとしてのメールマガジンの必要性を防災講話及び防災イベント等で啓発し、登録者数の増加につなげる。						
	0304		自動連動化率は目標に達していることから、整備した連動化システムが常時正常に運用できるよう保守点検を行うことで適正な管理につなげていく。						

04 耐震化の推進									
手段（4桁コード）	内容	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
0401	市有建築物の耐震化計画の推進	耐震化未実施棟数（12棟）	目標値	9棟	7棟	5棟	3棟	0棟	危機対策課
			実績値	11棟	10棟	10棟	10棟	10棟	
0402	地震対策の啓発及び相談業務	啓発回数	目標値	5回	5回	5回	5回	5回	建築住宅課
			実績値	11回	9回	6回	6回	6回	
0403	既存木造住宅の無料耐震診断の実施	件数	目標値	50件	50件	50件	50件	50件	〃
			実績値	73件	60件	43件	37件	27件	
0404	既存木造住宅耐震補強工事の推進	補助金申請件数	目標値	20件	20件	20件	20件	20件	〃
			実績値	23件	46件	23件	24件	25件	
今年度の改善ポイントや重点方向等	0401		耐震化未実施棟数が目標を大きく下回っていることから、原因を究明し、計画の進捗を図る。						
	0402		広報いとうへの掲載及びDM並びに個別訪問等により、補助金の活用に対する周知や丁寧な相談業務に努める。						
	0403		耐震補強の必要性や補助金の活用に対する啓発を継続して進めていくことで、無料耐震診断実施件数の更なる増加を図る。						
	0404		補助金の増額制度を積極的に啓発することで、耐震補強工事実施件数の更なる増加を図る。						

05 避難行動要支援者避難支援計画の推進									
手段（4桁コード）内容		管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
0501	避難行動要支援者避難支援チームによる支援検討会議開催	開催回数	目標値	4回	4回	4回	4回	4回	社会福祉課
			実績値	0回	1回	0回	0回	0回	
0502	避難行動要支援者個別計画の策定	避難行動要支援者個別計画策定率（個別計画策定済数/要支援者数）	目標値	30%	40%	50%	60%	70%	//
			実績値	0%	0%	0%	10%	40%	
0503	新規要支援者に対する避難行動要支援者個別計画の策定	新規要支援者の個別計画における避難支援者登録割合（登録数/新規数）	目標値	50%	50%	50%	50%	50%	//
			実績値	0%	0%	0%	0%	0%	
今年度の改善ポイントや重点方向等	0501 避難行動要支援者支援計画（全体計画）の見直しを図るとともに、支援検討会の実情に沿ったあり方を検討する。								
	0502 対象者のうち本人・家族から申請のあったものに関しては個別計画を策定した。今後は、対象者のうち未申請者へ提出を働きかけていく。								
	0503 支援者の登録には町内会、自主防災会、民生・児童委員協議会のほか、地域包括、介護支援専門員等の協力が不可欠であり又、本人の同意も必要になるため整備が困難であった。今後は、改正災対法を基に新しい枠組みの構築に努めたい。								

4 市民の皆さんと一緒に進めていく方策

方策	《令和2年度末時点の活動状況》	《令和3年度の改善ポイントや重点方向等》
この施策は分野全体を市民との協働により推進していきます。		

第四次総合計画 第十次基本計画・実施計画（目的指向体系表）

政策目標	2	安全・安心で快適なまち
施策分野	3	総合治水対策の強化
基本計画		水害や土砂災害に強いまちを目指します。

主担当課	建設課
関係課	危機対策課
作成年月日	R3.4.1

1 基本計画の達成状況

基本計画（目標）	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
水害や土砂災害に強いまちを目指します。	河川があふれる件数	目標値	0件	0件	0件	0件	0件	建設課
		実績値	0件	0件	0件	0件	0件	
指標の達成度 《今年度実績評価》	・ 随時、危険箇所の修繕、溢水箇所の改修を行い、また豪雨時におけるパトロールを実施を行ったことにより、河川及び水路の溢水による被害を防止した。							

2 目標を達成するための具体的な方策の進捗状況

目標を達成するための具体的な方策	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
O1 河川及び水路の整備促進及び維持管理	河川があふれる件数	目標値	0件	0件	0件	0件	0件	建設課
		実績値	0件	0件	0件	0件	0件	
O2 砂防及び急傾斜地崩壊防止事業の促進	指定箇所数	目標値	2箇所	累計4箇所	累計6箇所	累計8箇所	累計10箇所	〃
		実績値	0箇所	累計1箇所	累計1箇所	累計1箇所	累計1箇所	
O3 水防体制の整備	風水害による人的被害者数	目標値	0人	0人	0人	0人	0人	危機対策課
		実績値	0人	1人	1人	6人	0人	
指標の達成度 《今年度実績評価》	O1 随時、危険箇所の修繕、溢水箇所の改修を行い、また豪雨時におけるパトロールを実施したことにより、河川及び水路の溢水による被害を防止した。							
	O2 砂防及び急傾斜地崩壊防止事業について、要望箇所及び該当箇所がなかったため、指標の達成が出来なかった。							
	O3 人的被害者数は目標に達していることから、引き続き、発災時の適切な避難行動について啓発を行うことで、地域防災力の向上を目指す。							

3 具体的な方策を構成する手段の進捗状況

O1 河川及び水路の整備促進及び維持管理									
手段（4桁コード）	内容	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
O101	雨天時における河川の流水能力の把握	雨天時（時間雨量30mm程度）の流水調査実施回数	目標値	随時	随時	随時	随時	随時	建設課
			実績値	随時	随時	随時	随時	随時	
O102	雨天時における河川の危険箇所の把握	大雨後のパトロールの実施回数	目標値	随時	随時	随時	随時	随時	〃
			実績値	随時	随時	随時	随時	随時	
O103	時間雨量50mmに対応する河川及び水路の計画的な整備	年間整備河川数	目標値	1河川	累計2河川	累計3河川	累計4河川	累計5河川	〃
			実績値	0河川	累計1河川	累計1河川	累計1河川	累計1河川	
O104	側溝・水路・河川等の排水能力の維持・向上	河川堆積物等の除去件数	目標値	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	〃
			実績値	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	
O105	河川等の補修に関する市民要望への迅速かつ的確な対応	修繕件数（地域応急処理事業）	目標値	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	〃
			実績値	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	
今年度の改善ポイントや重点方向等	O101 大雨時に各河川の流下能力が低い箇所の水位調査を行い、整備の必要性を検討する。								
	O102 大雨時のパトロールの強化による危険箇所の的確な把握を行い、修繕等の日常的な維持管理に努める。								
	O103 未整備河川については、随時護岸の補強や修繕等を実施してはいるが、計画的な整備改修が遅れている。								
	O104 梅雨時期及び台風シーズン前に側溝・水路・河川等のごみ、落葉及び流木等により閉塞が予想される箇所の清掃を行い、排水能力の低下を防ぐ。								
	O105 要望等に対し、現場確認及び業者依頼を早急に行い、適切な維持管理に努める。								

O2 砂防及び急傾斜地崩壊防止事業の促進

手段（4桁コード）	内容	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
O201	急傾斜地崩壊危険区域指定の促進	指定箇所数 ※指定箇所は事業化決定	目標値	随時	随時	随時	随時	随時	建設課
			実績値	0	0	0	0	0	
O202	河川、水路及び急傾斜地の地元住民との調整	県事業における地元住民との調整件数	目標値	随時	随時	随時	随時	随時	〃
			実績値	2件	1件	1件	0件	0件	
O203	国県への要望活動の推進	県事業の実施件数	目標値	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	〃
			実績値	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	
今年度の改善ポイントや重点方向等	O201 現在、岡地区において急傾斜地崩壊防止事業に着手しており、地元との調整を行いながら早期完成を目指す。								
	O202 急傾斜地等の砂防事業において、県と地元住民との調整を図り事業の進捗を図る。								
	O203 各砂防事業の予算要望等を行い、各事業の進捗を図る。								

03 水防体制の整備									
手段（4桁コード）内容		管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
0301	土砂災害（特別）警戒区域の周知	新たに土砂災害警戒区域に指定された地域住民への「ガードマップ」配布率	目標値	100%	100%	100%	100%	100%	危機対策課
			実績値	100%	100%	100%	100%	100%	
0302	水防・土砂災害訓練の実施	水防・土砂災害防災訓練参加者数	目標値	200人	200人	200人	200人	200人	〃
			実績値	100人	80人	134人	206人	13人	
今年度の改善ポイントや重点方向等		0301 配付率は目標に達していることから、今後は、全戸配布した伊東市総合防災ガイドブックにより土砂災害警戒区域の周知及び防災知識の向上に努める。							
		0302 訓練参加者数は目標を大きく下回っていることから、コロナ禍の状況により、開催方法の変更を検討するなど、市民が安心して参加できる訓練の開催に努める。							

4 市民の皆さんと一緒に進めていく方策		
方策	《令和2年度末時点の活動状況》	《令和3年度の改善ポイントや重点方向等》
01 市民と市との協働による河川の維持管理	<ul style="list-style-type: none"> 市内河川愛護推進協議会と協働し環境美化活動による維持管理に努めた。また、県（リバーフレンドフレンドシップ制度）と連携、協力し愛護思想の向上に努めた。 町内清掃に伴う排土運搬業務を市が行う制度により、側溝清掃参加団体の利便向上を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、現在活動している河川愛護団体に支援を継続して行くとともに、河川美化活動が顕著な団体を表彰者として推薦する等、河川愛護思想の啓発に努める。
02 市民と市との協働による雨水の宅地内処理	<ul style="list-style-type: none"> 道路及び河川等への雨水流出の減少を図るため、住宅新築等に係る敷地内雨水処理の推進に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> 関係課との調整を図り、雨水の敷地内処理の推進する。 私道の移管協議を行う際に、道路側溝への民地からの雨水流入を防止する対策を求めている。

第四次総合計画 第十次基本計画・実施計画（目的指向体系表）

政策目標	2	安全・安心で快適なまち
施策分野	4	地域安全活動の充実
基本計画		事件・事故が少なく、安全で安心なまちを目指します。

主担当課	危機対策課
関係課	市民課
作成年月日	R3.4.1

1 基本計画の達成状況

基本計画（目標）	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
事件・事故が少なく、安全で安心なまちを目指します。	市内における刑法犯認知件数	目標値	392件	392件	392件	392件	392件	危機対策課
		実績値	401件	409件	363件	324件	258件	
	市内における交通人身事故発生件数	目標値	507件	502件	497件	492件	489件	〃
		実績値	468件	437件	443件	367件	325件	
指標の達成度 《今年度実績評価》	<ul style="list-style-type: none"> 刑法犯認知件数は目標値を下回るとともに対前年比で66件減少しており、諸般の防犯活動の成果が認められる。 交通人身事故発生件数は目標値を達成し、対前年で42件減少したものの死亡事故は、4件発生したため、更なる取組みが必要と思われる。 							

※刑法犯：殺人・強盗・放火・強姦・暴行・傷害・窃盗・詐欺などの犯罪で、ここでは交通関係を除いたもの。

2 目標を達成するための具体的な方策の進捗状況

目標を達成するための具体的な方策	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
O1 防犯・暴力追放対策の充実	年間の啓発活動事業数	目標値	24回	24回	24回	24回	24回	危機対策課
		実績値	23回	23回	26回	20回	15回	
O2 交通安全対策の充実	四季の交通安全運動期間中の啓発活動事業数	目標値	32回	32回	32回	32回	32回	〃
		実績値	25回	29回	26回	30回	22回	
O3 消費者の立場に立った相談業務の充実	相談件数	目標値	600件	590件	580件	570件	560件	市民課
		実績値	583件	602件	890件	777件	672件	
指標の達成度 《今年度実績評価》	O1	主に伊東警察署や防犯協会、地域安全推進員と協同して防犯啓発活動に努めてきたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、一年を通じて活動が制限され、例年より活動事業数が減少したため、目標とする回数には達しなかった。						
	O2	主に伊東警察署や交通安全協会、交通指導員と協同して交通安全啓発活動に努めてきたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、一年を通じて活動が制限され、例年より活動事業数が減少したため、目標とする回数には達しなかった。						
	O3	消費生活センターを開設し、消費生活相談内容の高度化・専門化に対応している。また、新型コロナウイルス感染症防止を考慮しつつ、可能な範囲での研修会参加を行い、職員及び相談員の知識向上を図ることで、適切な情報提供、助言などの迅速な対応ができた。弁護士等専門家とも連携し、的確な対応に務めた。						

3 具体的な方策を構成する手段の進捗状況

O1 防犯・暴力追放対策の充実								
手段（4桁コード）内容	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
O101 防犯・暴追活動団体の育成	年間の啓発活動事業数	目標値	24回	24回	24回	24回	24回	危機対策課
		実績値	23回	23回	26回	20回	15回	
O102 防犯・暴追活動運動の実施	地域安全推進員数	目標値	50人	51人	52人	53人	54人	〃
		実績値	43人	48人	50人	45人	45人	
O103 地域防犯支援団体との連携・協力	青色回転灯車両登録台数	目標値	31台	32台	33台	34台	35台	〃
		実績値	136台	133台	130台	124台	104台	
O104 市民に対する防犯等の情報提供	広報いとう及びメールマガジン掲載回数	目標値	10回	10回	10回	10回	10回	〃
		実績値	3回	5回	3回	3回	7回	
今年度の改善ポイントや重点方向等	O101	啓発活動の推進を目標に、コロナ禍でも対応できる新しい活動を増やすことで、全体の事業数の底上げに努める。また、マンネリ化した既存の事業の見直しを行う。						
	O102	活動をアピールし、新規加入者数の増加に努めたが、新規加入に結びつかなかったため、市民に身近な活動状況であることをよりアピールできるよう情報発信に努める。						
	O103	市庁用車等実際に稼働できる車両の登録数を増やし、より実働的な登録状況になるよう努める。						
	O104	伊東警察署生活安全課と協力し、メールマガジンシステムを利用して、オレオレ詐欺などの多種にわたる特殊詐欺を定期的に紹介するなど、実行性のある情報発信に努める。						

02 交通安全対策の充実									
手段（4桁コード）内容		管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
0201	交通安全啓発運動の実施	四季の交通安全運動期間中の啓発活動事業数	目標値	32回	32回	32回	32回	32回	危機対策課
			実績値	25回	29回	26回	30回	22回	
0202	交通指導員の確保と育成	交通指導員数	目標値	18人	19人	20人	21人	22人	〃
			実績値	14人	14人	13人	14人	8人	
0203	市民に対する交通安全の情報提供	広報いとう及びメールマガジン掲載回数	目標値	10回	10回	10回	10回	10回	〃
			実績値	21回	8回	10回	12回	10回	
今年度の改善ポイントや重点方向等	0201 1年を通じて、交通安全に関する様々な啓発活動を計画したが、コロナ禍により中止となった事業が多く発生したため、コロナ禍に対応できる新規事業を立ち上げることで活動事業数を増やしていく。								
	0202 交通指導員は令和2年度の1年間で6人減となった。指導員の高齢化に伴う影響が急激に表面化した結果であるため、交通指導員の活動を学校や地域にアピールし、早急に必要人員を確保する。								
	0203 メールマガジンシステムを利用して、事故が多発している時など市民にいち早く伝えるなどして、即時的な広報になるよう努める。								

03 消費者の立場に立った相談業務の充実									
手段（4桁コード）内容		管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
0301	市民相談の窓口・電話対応	相談件数	目標値	600件	590件	580件	570件	560件	市民課
			実績値	583件	602件	890件	777件	672件	
0302	弁護士等による専門相談の実施	専門相談窓口数	目標値	10	10	10	10	10	〃
			実績値	10	10	10	10	11	
0303	人権擁護委員・行政相談委員制度の周知	啓発回数	目標値	5回	5回	5回	5回	5回	〃
			実績値	6回	5回	6回	7回	6回	
0304	一般及び消費生活相談員の育成	研修会への参加数	目標値	15回	15回	15回	15回	15回	〃
			実績値	16回	17回	22回	17回	14回	
0305	賢い消費者の育成・被害の未然防止	消費生活講座、街頭啓発	目標値	5回	5回	5回	5回	5回	〃
			実績値	5回	5回	4回	3回	0回	
今年度の改善ポイントや重点方向等	0301 悪質・巧妙化した手口の商取引が増加、また、決済方法も多様化する中、相談件数を減少させていくことは難しいが、件数が増加しないよう、被害の未然防止に努める。								
	0302 今後とも市民需要の変化等に則した相談体制を随時検討していく。								
	0303 「広報いとう」やメールマガジン等の周知媒体を今後とも活用するとともに、感染防止に配慮した啓発活動の実施方法についても随時改善を検討していく。								
	0304 悪質・巧妙化した手口の消費者トラブルの解決のため、国、県主催のWEB研修へ積極的に参加していく。								
	0305 新型コロナウイルス感染症の影響で令和2年度は未実施となったが、感染防止対策をしつつ消費者教育出前講座等の開催について検討し、被害の未然防止に努めることとする。								

4 市民の皆さんと一緒に進めていく方策

方策	《令和2年度末時点の活動状況》	《令和3年度の改善ポイントや重点方向等》
01 犯罪及び交通事故防止に対する意識の高揚	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、啓発活動に制限がある中、伊東市交通指導員会、伊東市交通安全母の会、伊東警察署地域安全推進協議会などの関係団体の協力を得て、交通安全、防犯、暴力追放の啓発事業を試行錯誤して行った。 	<ul style="list-style-type: none"> メールマガジンやホームページ等を通じて、防犯・交通安全に関する情報提供を増やすことで、チラシ配りや体験活動等接触のない啓発活動を増やし、コロナ禍に対応した啓発活動へシフトさせる。

第四次総合計画 第十次基本計画・実施計画（目的指向体系表）

政策目標	2	安全・安心で快適なまち
施策分野	5	安全な水の安定供給
基本計画		安心でおいしい水が安定的に供給されるまちを目指します。

主担当課	水道課
関係課	—
作成年月日	R3.4.1

1 基本計画の達成状況

基本計画（目標）	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
安全でおいしい水が安定的に供給されるまちを目指します。	水質・安定供給・水道料金などを総合的に評価した場合の、満足している使用者の割合	目標値	88%	88.5%	89%	89.5%	90%	水道課
		実績値	88.1%	87.2%	87.0%	86.2%	88.0%	
指標の達成度 《今年度実績評価》	目標値には届かないものの、依然として多くのお客様から「満足している」との評価をいただいております。満足度は高いものとする。今後も老朽化した水道施設の計画的な更新及び耐震化を推進し、さらなる満足度の向上に努めていく。（令和2年度市民満足度調査にて「安全でおいしい水の安定供給」の取組に88.0%の方が満足と回答）							

2 目標を達成するための具体的な方策の進捗状況

目標を達成するための具体的な方策	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
O1 安全な水道水の確保	水質基準適合率	目標値	100%	100%	100%	100%	100%	水道課
		実績値	100%	100%	100%	100%	100%	
O2 水道水の安定供給対策の推進	断水件数	目標値	0件	0件	0件	0件	0件	〃
		実績値	2件	2件	2件	2件	5件	
O3 災害時に迅速に対応できる体制づくり	災害対策訓練の実施	目標値	1回/年	2回/年	3回/年	4回/年	6回/年	〃
		実績値	1回/年	2回/年	3回/年	4回/年	2回/年	
O4 災害・事故に備えた施設の管理・耐震化の推進	幹線管路（φ150mm以上）の耐震化率	目標値	34%	35%	36%	37%	38%	〃
		実績値	33%	34%	34%	34%	34%	
O5 持続可能な経営基盤の強化	実質余裕資金の確保	目標値	10億円以上	10億円以上	10億円以上	10億円以上	10億円以上	〃
		実績値	11億円	13億円	15億円	16億円	15億円	
O6 民営水道の統合の推進	未統合の事業者との協議回数	目標値	3回/年	3回/年	3回/年	3回/年	3回/年	〃
		実績値	36回/年	20回/年	11回/年	2回/年	1回/年	
指標の達成度 《今年度実績評価》	O1 適切な水質管理により水質基準適合率100%を維持出来ている。							
	O2 管路老朽化に伴う漏水により断水工事件数が増えているため、今後も老朽化施設の更新を推進し安定供給の確保に努める。							
	O3 新型コロナウイルス感染症の影響により、リモートによる訓練のみの実施となったため、目標値には届かなかった。							
	O4 いつ起こるか分からない災害や大地震に備え、幹線管路の耐震化を推進し、財政状況を勘案しつつ目標達成に努める。							
	O5 目標値を達成しているものの、今後も給水収益が減少する見込みとなることから、経費節減など効率的な事業運営に努め、経営基盤を強化していく。							
	O6 民営水道の統合については、統合後の経費を見極め、伊東市水道事業の料金体系に影響を及ぼさない事業統合を進めていく。							

3 具体的な方策を構成する手段の進捗状況

O1 安全な水道水の確保									
手段（4桁コード）	内容	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
O101	原水（水源の水）の水質検査	検査の実施 ※原水の検査は法律で義務付けられていません。	目標値	1回/年	1回/年	1回/年	1回/年	1回/年	水道課
			実績値	1回/年	1回/年	1回/年	1回/年	1回/年	
O102	浄水（蛇口の水）の水質検査	水質基準適合率	目標値	100%	100%	100%	100%	100%	〃
			実績値	100%	100%	100%	100%	100%	
O103	水質検査計画の策定及び結果の公表	検査結果の公表	目標値	毎月公表	毎月公表	毎月公表	毎月公表	毎月公表	〃
			実績値	毎月公表	毎月公表	毎月公表	毎月公表	毎月公表	
O104	塩素消毒が効かない生物対策	対策指針の実施率	目標値	100%	100%	100%	100%	100%	〃
			実績値	100%	100%	100%	100%	100%	
O105	専用水道等の適正管理指導	専用水道等への管理状況立会い実施件数	目標値	19件/年	19件/年	19件/年	19件/年	19件/年	〃
			実績値	19件/年	19件/年	19件/年	19件/年	19件/年	
今年度の改善ポイントや重点方向等	O101 今後も、静岡県水道水質管理計画に基づいて実施し、安全で安心な原水水質管理をしていく。								
	O102 残留塩素は毎日、水質検査は毎月実施し、水質基準に適合した安全で安心な水質を維持していく。								
	O103 水質検査結果を毎月ホームページで公表し、安全で安心な水道水であることを周知していく。								
	O104 耐性塩素生物の出る前の指標菌監視を行い、事前対策を講じることができる体制を整えておく。								
	O105 環境課と連携し、水道行政の立場で指導、相談及び情報交換を行っていく。								

O2 水道水の安定供給対策の推進									
手段（4桁コード）内容	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課	
O201 老朽管路の更新	更新距離数	目標値	1.5km/年	1.5km/年	1.5km/年	1.5km/年	1.5km/年	水道課	
		実績値	0.7km/年	2.2km/年	1.4km/年	1.4km/年	2.0km/年		
O202 管網整備対策	整備数量	目標値	1.0km/年	1.0km/年	1.0km/年	1.0km/年	1.0km/年	〃	
		実績値	1.4km/年	1.0km/年	1.0km/年	1.3km/年	0.3km/年		
O203 伊東市南部地域への安定した給水の確保	池中野配水池送水管布設(完了目標年度 H30年度)計画延長残	目標値	580m	350m	0m	0m	0m	〃	
		実績値	553m	0m	0m	28m	0m		
O204 配水区域の見直し	配水量及び配水圧の適正管理	目標値	解析実施	解析実施	解析実施	解析実施	解析実施	〃	
		実績値	実施	実施	実施	実施	実施		
O205 漏水防止対策の促進	漏水調査の実施	目標値	100km/年	100km/年	100km/年	100km/年	100km/年	〃	
		実績値	47km/年	103km/年	94km/年	109km/年	100km/年		
今年度の改善ポイントや重点方向等	O201 引き続き、財政状況を勘案しつつ事業を進めていく。								
	O202 目標値に達しなかったが、財政状況を勘案しつつ目標達成に努める。								
	O203 県道の改良工事の進捗に併せ送水管を布設する計画であるが、県道用地買収の遅れにより事業が遅延している。今後も県と調整のうえ、早期完成を目指していく。								
	O204 引き続き、適正に管理していくよう努める。								
	O205 引き続き漏水調査を実施し、漏水の早期発見に努める。								

O3 災害時に迅速に対応できる体制づくり									
手段（4桁コード）内容	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課	
O301 緊急資材の確保	備蓄資材の品目数	目標値	237品目	237品目	237品目	237品目	237品目	水道課	
		実績値	237品目	237品目	237品目	237品目	237品目		
O302 緊急仮設配管材の確保	貸出契約の締結	目標値	1社	1社	1社	1社	1社	〃	
		実績値	1社	1社	1社	1社	1社		
O303 災害対策マニュアルの見直し	訓練実施回数	目標値	1回/年	2回/年	3回/年	4回/年	6回/年	〃	
		実績値	1回/年	2回/年	3回/年	4回/年	2回/年		
O304 応援協力体制の継続	応援協力協定団体数	目標値	7団体	7団体	7団体	7団体	7団体	〃	
		実績値	7団体	7団体	7団体	7団体	7団体		
今年度の改善ポイントや重点方向等	O301 緊急に備え、品目数の維持に努める。								
	O302 財政状況を勘案しつつ、適切な契約の維持に努める。								
	O303 新型コロナウイルス感染症の影響により、リモートでの実施のみとなったため目標値に届かなかったが、今後も管工事組合等、関係団体と連携し応急給水訓練等を実施することで、より実践的な体制構築に努める。								
	O304 協力団体数を維持し、災害発生時の応援協力体制の確立に努める。								

O4 災害・事故に備えた施設の管理・耐震化の推進									
手段（4桁コード）内容	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課	
O401 幹線管路（口径150mm以上）の耐震化	耐震化率	目標値	34%	35%	36%	37%	38%	水道課	
		実績値	33%	34%	34%	34%	34%		
O402 主要配水池の耐震化	耐震化進捗度(H32年度迄に1か所の耐震化を目標)	目標値	20%	40%	60%	80%	100%	〃	
		実績値	20%	40%	60%	80%	100%		
O403 停電時にも対応できる施設の管理	自家用発電設備の機能維持	目標値	12基	12基	12基	12基	12基	〃	
		実績値	12基	14基	14基	14基	14基		
今年度の改善ポイントや重点方向等	O401 実績値が伸びなかったが、幹線管路の耐震化は重要事項であるため、引き続き耐震化率の向上を図る。								
	O402 自然災害による工事中断があったが、令和2年度に耐震化を完成させる。								
	O403 突発的な自然災害に備え、発電設備の維持管理を定期的に行い、停電時でも安定した水道水の供給を行う。								

O5 持続可能な経営基盤の強化									
手段（4桁コード）内容	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課	
O501 水道料金の収納率の向上	収納率	目標値	96.50%	96.70%	97%	97.25%	97.50%	水道課	
		実績値	97.08%	97.13%	97.15%	97.29%	97.58%		
O502 企業債残高の縮減	企業債残高	目標値	54億円以内	54億円以内	54億円以内	54億円以内	54億円以内	〃	
		実績値	53億円	53億円	53億円	53億円	53億円		
O503 料金体系の見直しについての検討	経常収支比率	目標値	110%	110%	110%	110%	110%	〃	
		実績値	123%	114%	115%	105%	105%		
今年度の改善ポイントや重点方向等	O501 収納率向上の目標は達成したが、今後も委託業者との連携を強化し、適切な未納者対策に努めることで更なる収納率の向上を目指す。								
	O502 資金状況と借入金利のバランスを考慮した借り入れにより、健全な事業運営を保っていく。								
	O503 料金収入の減少や、施設維持管理費の増加等により目標値を下回っているが、単年度収支の黒字を示す100%は上回っている。今後も継続的に施設の更新、耐震化のための資金を確保していくため、適切な収支計画に基づき料金体系を検討していく。								

06 民営水道の統合の推進									
手段（4桁コード）内容		管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
0601 民営水道の統合に関する協議	未統合の事業者との協議回数	目標値		3回/年	3回/年	3回/年	3回/年	3回/年	水道課
		実績値		36回/年	20回/年	11回/年	2回/年	1回/年	
今年度の改善ポイントや重点方向等	<ul style="list-style-type: none"> 統合後の維持管理や施設更新の経費を見極め、民営水道事業者と協議を重ねて事業統合を進めていく。 								

4 市民の皆さんと一緒に進めていく方策

方策	《令和2年度末時点の活動状況》	《令和3年度の改善ポイントや重点方向等》
01 災害に備えた水の備蓄	<ul style="list-style-type: none"> 災害発生時の断水に対応するため、災害緊急備蓄用ポリ容器を購入している。 令和2年度は地域防災訓練が新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったため、訓練時に実施していた災害に備えた水の備蓄の呼びかけや、ポリ容器を使用した給水車からの給水訓練ができなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域防災訓練等を活用した市民を対象とした給水訓練及び水の備蓄の啓発を行う。

第四次総合計画 第十次基本計画・実施計画（目的指向体系表）

政策目標 2	安全・安心で快適なまち
施策分野 6	ごみ対策の充実
基本計画	ごみの少ない良好な環境を目指します。

主担当課	環境課
関係課	—
作成年月日	R3.4.1

1 基本計画の達成状況

基本計画（目標）	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
ごみの少ない良好な環境を目指します。	ごみの排出量	目標値	33,270トン	33,232トン	32,756トン	32,275トン	31,789トン	環境課
		実績値	33,795トン	33,638トン	33,327トン	33,920トン	32,034トン	
	リサイクル量	目標値	6,626トン (19.92%)	6,973トン (20.98%)	6,971トン (21.28%)	6,923トン (21.45%)	6,926トン (21.79%)	〃
		実績値	6,476トン (19.16%)	6,309トン (18.76%)	6,153トン (18.46%)	6,056トン (17.85%)	5,829トン (18.20%)	
指標の達成度 《今年度実績評価》	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍による影響で、事業系ごみの減少によりごみの排出量は令和元年度より減少した。 ・ リサイクル量は年々減少傾向にあり、十分なリサイクル量に達することができず、目標未達成となった。 							

2 目標を達成するための具体的な方策の進捗状況

目標を達成するための具体的な方策	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
O1 ごみの分別の更なる推進	可燃ごみ量	目標値	29,780トン	29,327トン	28,875トン	28,422トン	27,920トン	環境課
		実績値	30,594トン	30,347トン	30,122トン	30,757トン	28,883トン	
O2 ごみ減量のための3Rの推進	資源化量	目標値	3,792トン	4,241トン	4,339トン	4,390トン	4,487トン	〃
		実績値	5,817トン	5,729トン	5,656トン	5,597トン	5,399トン	
O3 一般廃棄物処理施設の整備	整備率	目標値	10%	30%	50%	80%	100%	〃
		実績値	7%	12%	23%	41%	61%	
O4 リサイクル環境の整備	ペットボトル等回収量	目標値	325トン	768トン	766トン	760トン	757トン	〃
		実績値	108トン	106トン	123トン	119トン	112トン	
O5 不法投棄対策の推進	回収量	目標値	80トン	78トン	76トン	75トン	73トン	〃
		実績値	71トン	78トン	73トン	131トン	81トン	
指標の達成度 《今年度実績評価》	<ul style="list-style-type: none"> O1 可燃ごみの中には依然として紙類や古布、ペットボトル等の資源化可能なごみもあり、目標値を下回る結果になった。 O2 ごみの総排出量が減少傾向にあるため、資源化量も令和元年度より減少しているが、目標を達成することができた。 O3 本計画に沿った整備執行を目指していたが、各廃棄物処理施設の老朽化内容や進捗度が異なるため、目標値の半分程度の達成に留まった。 O4 平成29年1月からプラスチック製容器包装ステーション分別収集を一部の地域で開始し、平成30年1月から収集箇所を増やしたものの、全市域での実施には至らなかったため、目標値を大きく下回った。 O5 不法投棄防止柵の設置や監視カメラの導入のため、不法投棄量が令和元年度より大きく下回ったものの、目標を達成することができなかった。 							

3 具体的な方策を構成する手段の進捗状況

O1 ごみの分別の更なる推進								
手段（4桁コード）内容	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
O101 分別品目の最適化	分別品目数	目標値	16品目	18品目	18品目	18品目	18品目	環境課
		実績値	16品目	17品目	19品目	19品目	20品目	
O102 可燃ごみの減量化	市収集可燃ごみ量	目標値	14,618トン	14,271トン	13,926トン	13,579トン	13,234トン	〃
		実績値	11,108トン	10,819トン	10,551トン	6,523トン	6,428トン	
今年度の改善ポイントや重点方向等	O101	平成29年1月から玖須美区の3町内（富士見町、城星町、促進町）でプラスチック製容器包装分別収集実証事業が始まり、今後も全市域への実施に向け検証を行う。古着は平成30年度に特別回収を実施し、今後も拠点回収実施に向け検証を行う。平成30年度からインクカートリッジの拠点回収も開始したため、目標値を上回った。令和2年12月から小型充電式電池の受入を開始。						
	O102	可燃ごみの減量化については、平成27年10月から第5地区の民間委託が始まり、平成31年4月から第4地区の民間委託が始まったため、市収集可燃ごみ量がさらに大幅に減少した。						

O2 ごみ減量のための3Rの推進									
手段（4桁コード）内容		管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
0201	生ごみの減量化	生ごみ処理容器補助件数	目標値	52件	57件	62件	67件	70件	環境課
			実績値	23件	17件	24件	19件	15件	
0202	焼却灰のリサイクル	資源化委託量	目標値	2,834トン	2,732トン	2,632トン	2,533トン	2,439トン	〃
			実績値	3,299トン	3,250トン	3,250トン	3,219トン	3,045トン	
0203	ビン再資源化の推進	ビン資源化量	目標値	961トン	954トン	947トン	940トン	933トン	〃
			実績値	937トン	917トン	886トン	824トン	751トン	
今年度の改善ポイントや重点方向等	0201 コンポストは全世帯向けではないため、この補助制度を維持しつつも、別の対策方法も検討していきたい。								
	0202 可燃ごみの中にリサイクル可能なものが混在していることから、リサイクルの徹底を市民に協力していただき、結果として焼却灰の減少につなげていきたい。								
	0203 ビン資源化分別収集については、引き続き、市民に対する指導・助言を行っていく。								

O3 一般廃棄物処理施設の整備									
手段（4桁コード）内容		管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
0301	環境美化センターの焼却炉整備	整備率	目標値	1.0%	3.0%	30.0%	70.0%	100.0%	環境課
			実績値	1.0%	2.0%	14.0%	38.0%	67.0%	
0302	御石ヶ沢清掃工場の破砕・圧縮設備	整備率	目標値	20.0%	40.0%	50.0%	70.0%	100.0%	〃
			実績値	16.0%	16.0%	16.0%	63.0%	124.0%	
0303	御石ヶ沢最終処分場の水処理設備	整備率	目標値	20.0%	40.0%	60.0%	80.0%	100.0%	〃
			実績値	7.0%	14.0%	30.0%	44.0%	56.0%	
0304	クリーンセンターの機器設備	整備率	目標値	20.0%	40.0%	60.0%	90.0%	100.0%	〃
			実績値	9.0%	18.0%	29.0%	42.0%	55.0%	
今年度の改善ポイントや重点方向等	0301 故障の恐れがある緊急性の高い設備から整備を行い、施設の適正な維持管理に努めた。目標値には達しなかったが、維持管理に努められるよう適正な整備を実施する。								
	0302 設備の使用年数が長いため劣化による不具合箇所を中心に整備した結果、目標値を上回った。今後とも設備の状態を把握し、適正な整備を実施する。								
	0303 設備の消耗品交換等の整備に努めた結果、目標値の半分程度の達成に留まったが、今後とも適正な維持管理に努められるよう整備を実施する。								
	0304 設備の消耗品交換等の整備に努めた結果、目標値の半分程度の達成に留まったが、今後とも適正な維持管理に努められるよう整備を実施する。								

O4 リサイクル環境の整備									
手段（4桁コード）内容		管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
0401	リサイクル施設の整備	整備率	目標値	0%	0%	10.0%	40.0%	100.0%	環境課
			実績値	0%	0%	0%	0%	0%	
0402	ペットボトル等のステーション回収	ペットボトル及び容器包装プラスチックの回収量	目標値	272トン	716トン	715トン	711トン	710トン	〃
			実績値	58トン	64トン	69トン	73トン	78トン	
0403	資源ごみ集団回収団体の育成	集団回収団体数	目標値	112団体	114団体	116団体	118団体	120団体	〃
			実績値	110団体	111団体	111団体	103団体	87団体	
今年度の改善ポイントや重点方向等	0401 機器の作業環境を考慮し、故障予防の観点から早期な点検整備を続けた結果、老朽度が進まず整備の不用に繋がった。今後とも同様な点検整備を続け廃棄物処理に努めたい。								
	0402 回収量は徐々に増加傾向にあるが、可燃ごみへの排出やポイ捨てされるペットボトル等も見られることから、適切な処理について啓発していきたい。								
	0403 資源ごみ集団回収団体数の増加を目的としHP等により周知するとともに、市内の市民団体や実施していない小中学校、幼稚園、保育園等に依頼していく。								

05 不法投棄対策の推進									
手段（4桁コード）内容		管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
0501	不法投棄防止パトロール活動の推進	活動日数	目標値	200日	200日	200日	200日	200日	環境課
			実績値	211日	205日	214日	240日	221日	
0502	不法投棄防止関連団体との連携	連携処理案件数	目標値	40件	38件	36件	34件	30件	//
			実績値	12件	11件	14件	13件	11件	
0503	民有地の不法投棄防止対策	指導、助言回数	目標値	24回	23回	22回	21回	20回	//
			実績値	18回	20回	20回	19回	18回	
今年度の改善ポイントや重点方向等	0501 不法投棄防止の観点から、目標値以上に出動するよう業務に当たっている。								
	0502 市単独で処理困難な案件については県、警察と連携し、対応に当たっている。目標値を大きく下回っている要因は、案件によるところがあり、市単独で処理可能な案件が総じて多い点が挙げられる。								
	0503 令和元年度と同様に市民等からの通報があった際、速やかに現場に急行し対応しており、投棄されないよう指導助言することでほぼ目標値での推移となっている。								

4 市民の皆さんと一緒に進めていく方策

方策	《令和2年度末時点の活動状況》	《令和3年度の改善ポイントや重点方向等》
01 地域ぐるみによる環境美化活動	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、ごみゼロ運動クリーン作戦の実施を中止した。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度のごみゼロ運動クリーン作戦については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、出陣式を中止とし、マスクの着用など感染防止対策を講じたうえで清掃活動のみ実施予定。

第四次総合計画 第十次基本計画・実施計画（目的指向体系表）

政策目標	2	安全・安心で快適なまち	主担当課	環境課
施策分野	7	環境にやさしいまちづくり	関係課	産業課
基本計画		市民が環境に関心を持ち、人にやさしいまちの創造を目指します。	作成年月日	R3.4.1

1 基本計画の達成状況

基本計画（目標）	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
市民が環境に関心を持ち、人にやさしいまちの創造を目指します。	太陽光発電システム設置件数	目標値	1,594件	1,753件	1,928件	2,121件	2,300件	環境課
		実績値	1,653件	1,751件	1,827件	1,588件	1,767件	
	愛護動物・公害に関する迷惑行為に寄せられる苦情件数	目標値	74件	72件	70件	68件	66件	〃
		実績値	29件	41件	49件	45件	70件	
指標の達成度 《今年度実績評価》	<ul style="list-style-type: none"> 買取期間10年が経過した太陽光発電システムが増え、蓄電池システムの設置が増加したが、目標達成には至らなかった。引き続き、太陽光発電システムの補助制度等について周知・啓発に努める。 公害に関する迷惑行為による苦情では、大半が野焼きとなっており、引き続き、「野焼きは、禁止である」ことを広報等を通じて啓発していく。 							

2 目標を達成するための具体的な方策の進捗状況

目標を達成するための具体的な方策	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
O1 低炭素社会の推進	市役所の温室効果ガス排出量の削減率（平成23年度比）	目標値	4.2%	5.0%	5.8%	6.6%	7.5%	環境課
		実績値	7.4%	4.72%	6.30%	6.40%	6.26%	
O2 森林整備事業の促進	森の力再生事業整備面積	目標値	20ha	20ha	20ha	20ha	20ha	産業課
		実績値	17.5ha	5.9ha	4.4ha	0.0ha	1.47ha	
O3 健康で安全な生活環境の確保	環境基本計画の施策の目標達成率	目標値	96.0%	97.0%	98.0%	99.0%	100.0%	環境課
		実績値	93.6%	94.3%	94.2%	92.9%	86.4%	
	狂犬病予防注射の接種率	目標値	66.0%	67.0%	68.0%	69.0%	70.0%	環境課
		実績値	64.5%	60.2%	61.9%	65.1%	66.2%	
指標の達成度 《今年度実績評価》	<p>O1 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、リモート会議が増加したことによる自動車の使用エネルギー及び市施設休止による市施設使用エネルギーは削減したが、小中学校の空調設備が完備されたことによるLPG使用量が削減分を上回る増加があった。</p> <p>O2 森の力再生事業を中心に森林整備を進めたが、森の力再生事業の条件に合致する森林は年々減少傾向にあるため、目標達成には至らなかった。災害等の予防策として、森の力再生事業を活用した荒廃森林の整備は今後も求められるため、施策目標の達成に向けて森林所有者等への制度周知を継続して推進する。</p> <p>O3 環境基本計画に定める目標指標の中に環境に関するイベントや講座があるが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、不特定多数の人との接触を避けるためイベントや講座を中止しているため、昨年度と比較して実績値が減少した。狂犬病予防注射の接種率向上を図るため、予防接種の督促状を送付し、新たな接種登録や死亡届の提出など効果があった。</p>							

3 具体的な方策を構成する手段の進捗状況

O1 低炭素社会の推進										
手段（4桁コード）内容	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課		
O101 省エネルギー・再生可能エネルギー設備の市施設への導入	導入件数	目標値	10件	10件	10件	10件	10件	10件	環境課	
		実績値	14件	11件	13件	11件	7件			
O102 省エネルギー・再生可能エネルギー設備の導入への支援	導入支援件数（累計）	目標値	410件	460件	510件	560件	610件	〃		
		実績値	417件	511件	567件	669件	785件			
O103 環境学習の推進	アース・キッズ等の環境学習講座の参加人数	目標値	300人	350人	400人	450人	500人	〃		
		実績値	103人	126人	941人	847人	774人			
今年度の改善ポイントや重点方向等	O101 可能施設を洗い出し、修繕及び改修工事時に新エネルギー及び再生可能エネルギー機器の導入を進める。									
	O102 ホームページ等での啓発活動に努め、引き続き、導入支援の補助金の交付を続けていく。									
	O103 昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、参加人数が減少したが、今年度は新型コロナウイルス感染症感染防止対策をした上で、環境学習講座を実施する。									

O2 森林整備事業の促進

手段（4桁コード）内容	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課		
O201 森林の荒廃防止のための林道、治山対策の推進	林道災害発生件数	目標値	0件	0件	0件	0件	0件	0件	産業課	
		実績値	5件	5件	3件	10件	1件			
O202 自然と親しむことのできる森林の整備	民間団体による整備面積	目標値	32ha	10ha	10ha	10ha	10ha	〃		
		実績値	47ha	12.6ha	16.2ha	44ha	25.6ha			
O203 森林ボランティア育成	里山講座参加者数（～H29） 森林保全活動参加者数（H30～）	目標値	70人	70人	70人	70人	70人	〃		
		実績値	56人	52人	50人	41人	28人			
今年度の改善ポイントや重点方向等	O201 災害発生を未然に防止できるよう、定期的な林道パトロールを行い、危険箇所の把握、必要な維持管理に努める。									
	O202 森林所有者や地域住民が協力して森林の有する機能を発揮させるための保全活動を行う活動組織を支援する。									
	O203 森林保全に取り組むボランティア団体の活動に着目し、森林保全活動参加者の増加に向け広報等支援する。									

03 健康で安全な生活環境の確保									
手段（4桁コード）内容		管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
0301	大気汚染防止法等に基づく事業場への立入検査	立入検査した事業場のうち改善指導を受けた事業場の割合	目標値	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	環境課
			実績値	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
0302	騒音規制法等に基づく特定建設作業者等への指導	改善指導件数	目標値	0件	0件	0件	0件	0件	〃
			実績値	0件	0件	0件	1件	0件	
0303	臨戸訪問等による狂犬病予防注射の接種指導	指導対象となった犬のうち未接種が改善された犬の割合	目標値	12.0%	14.0%	16.0%	18.0%	20.0%	〃
			実績値	14.9%	13.0%	20.0%	0.0%	0.0%	
0304	飼い主の判明しない猫の繁殖の防止	ねこの去勢・不妊手術補助金の交付件数	目標値	40件	40件	40件	40件	40件	〃
			実績値	36件	14件	18件	36件	76件	
今年度の改善ポイントや重点方向等	0301 静岡県の立入検査に同行し、引き続き、県から改善指導を受けないよう事業者には法令遵守の徹底をお願いする。								
	0302 騒音規制法等に基づく特定建設作業届の内容を遵守し、近隣住民の住環境の保全について徹底させる。								
	0303 狂犬病予防注射の接種率向上を目指し、引き続き、督促状の送付や臨戸訪問等による接種指導に努める。								
	0304 引き続き広報いとう等により周知啓発を実施し、飼い主のいない猫の繁殖を防止することで、生活環境の保全を図る。								

4 市民の皆さんと一緒に進めていく方策

方策	《令和2年度末時点の活動状況》	《令和3年度の改善ポイントや重点方向等》
01 *環境カウンセラー等との協働による地球環境や生活環境の保全を図る啓発活動の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・静岡県地球温暖化防止活動推進センター等関係機関と市内在住環境カウンセラーなどの協力を得て、アースキッズ事業を実施し、南小学校の小学5年生を対象に各家庭において、環境問題や地球温暖化防止活動等に取組んだ。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、「ごみフェスティバル2020」が中止となり、予定していた啓発活動ができなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度は、新型コロナウイルス感染症感染防止対策をした上で、小学校4、5年生を対象に環境カウンセラーや地球温暖化防止推進委員等と協働し、地球温暖化防止や生活の中の身近な環境問題を考える場を提供し、児童の自発的な行動や考える力を発揮させることを目的とするアースキッズ事業や「ごみフェスティバル2021」での啓発活動を実施する。
02 市民参加の森づくり推進	<ul style="list-style-type: none"> ・健康保養地づくり事業においてNPO法人等の森づくり団体と協働し、市民が自然と触れ合える機会を創出した。 ・森林所有者や地域住民等が協力して森林の有する機能を発揮させるための保全活動に対して支援した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・森林ボランティアや地域活動組織が行う事業を支援し、多くの一般市民が気軽に森づくりに参加できる環境を整える。
03 市民・動物ボランティア・保健所との協働による地域ねこ対策の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・飼い主のいないねこによる迷惑行為を減少させるため、給餌等を行っている市民に対し、熱海保健所等と連携を図り、管理マナーの向上や地域問題の解決を図るための啓発活動を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・区長や地域ボランティア団体等からの地域の実情を踏まえた要望に基づき、県動物愛護推進員等ボランティアと連携を図り、県動物保護協会のモデル事業（TNR事業）を実施する。又、給餌等を行っている市民に対し、管理マナーの向上や地域問題の解決を図るため、熱海保健所等と連携を図りながら、引き続き、啓発活動を実施する。

※環境カウンセラー：環境保全に関する専門的知識や豊富な経験を有し、市民や事業者等の環境保全活動に対する助言を行う人材として、環境省が実施する審査を経て認定されている者

第四次総合計画 第十次基本計画・実施計画（目的指向体系表）

政策目標	2	安全・安心で快適なまち
施策分野	8	生活排水対策の充実
基本計画		生活排水の適正処理や水洗化により、清潔で快適な生活環境を目指します。

主担当課	下水道課
関係課	環境課
作成年月日	R3.4.1

1 基本計画の達成状況

基本計画（目標）	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
生活排水の適正処理や水洗化により、清潔で快適な生活環境を目指します。	環境基準（※河川BOD・海域COD）	目標値	達成	達成	達成	達成	達成	下水道課
		実績値	達成	達成	達成	達成	達成	

指標の達成度《今年度実績評価》
 ・生活排水を適正に処理することが、公共水域の水質保全や公衆衛生の向上に繋がるため、下水道未接続世帯に対する個別訪問を実施し水洗化率の向上に努めた。

※河川BOD・海域COD：水の汚れを示す数値。河川・湖沼ではBOD、海域ではCODを採用し、数値が小さい方が良い。

2 目標を達成するための具体的な方策の進捗状況

目標を達成するための具体的な方策	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
O1 下水道施設の整備促進	整備済み面積	目標値	583.1ha	588.8ha	591.9ha	595.8ha	598.2ha	下水道課
		実績値	587.2ha	590.2ha	592.9ha	594.5ha	595.4ha	
O2 水洗化の促進	下水道普及率	目標値	81.00%	82.00%	83.00%	84.00%	85.00%	〃
		実績値	81.10%	81.90%	82.30%	82.80%	83.20%	
O3 下水道施設の適正管理	放流水質のBOD、COD (mg/L)	目標値	BOD15mg/L以下 COD20mg/L以下	BOD15mg/L以下 COD20mg/L以下	BOD15mg/L以下 COD20mg/L以下	BOD15mg/L以下 COD20mg/L以下	BOD15mg/L以下 COD20mg/L以下	〃
		実績値	BOD15mg/L以下 COD20mg/L以下	BOD15mg/L以下 COD20mg/L以下	BOD15mg/L以下 COD20mg/L以下	BOD15mg/L以下 COD20mg/L以下	BOD15mg/L以下 COD20mg/L以下	
O4 下水道の健全経営（公営企業会計の導入）	汚水処理費に係る経費回収率	目標値	76.00%	77.00%	78.00%	79.00%	80.00%	〃
		実績値	78.83%	77.54%	75.42%	72.72%	51.80%	
O5 適正な浄化槽の維持管理の推進	合併浄化槽設置補助件数	目標値	25基	25基	25基	25基	25基	〃
		実績値	24基	21基	25基	26基	12基	
	浄化槽法第7条、第11条検査受検率	目標値	7条=32% 11条=6%	7条=34% 11条=7%	7条=36% 11条=8%	7条=38% 11条=9%	7条=40% 11条=10%	環境課
		実績値	7条=59% 11条=5%	7条=56% 11条=6%	7条=60% 11条=7%	7条=68% 11条=7%	7条=69% 11条=8%	

指標の達成度《今年度実績評価》
 O1 目標はほぼ達成しているが、整備面積は減少傾向にある。※目標値について、移管分（22.46ha）を除外していたが、他統計との整合性を考慮し含めることとした。
 O2 周知用のチラシを活用した接続促進業務の効果により水洗化率は上昇している。下水道接続の必要性について理解していただけるよう引き続き、当該業務を実施していく。
 O3 水処理の適正管理により、目標値を達成している。今後も施設の適正な維持管理に努めていく。
 O4 新型コロナウイルス感染症の影響による来遊客の減少に伴い、事業者の有収水量が大幅に減少し、使用料収入に大きな影響を与えた。令和2年度から公営企業会計制度に移行したことにより、当該項目の算出方法が変更になり、従来よりも低い数値となっているため、健全な経営を行うためには、適正な使用料金の設定を検討していく必要がある。
 O5 浄化槽の維持管理の推進について、法定検査の受検率の向上を目指し、引き続き、浄化槽パトロール等の啓発活動を県と連携を図りながら実施する。

3 具体的な方策を構成する手段の進捗状況

O1 下水道施設の整備促進									
手段（4桁コード）	内容	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
O101	伊東処理区内の効率的な整備の推進	伊東処理区内の整備面積	目標値	2.9ha/年	5.6ha/年	3.0ha/年	3.8ha/年	2.3ha/年	下水道課
			実績値	6.6ha/年	3.0ha/年	2.4ha/年	2.5ha/年	0.7ha/年	
O102	荻・十足処理区内の効率的な整備の推進	荻・十足処理区内の整備面積	目標値	0.1ha/年	0.1ha/年	0.1ha/年	0.1ha/年	0.1ha/年	〃
			実績値	0.3ha/年	0.0ha/年	0.3ha/年	0.0ha/年	0.2ha/年	
O103	私道への管きよ整備	要望に対する3年以内整備率（要綱適合箇所）	目標値	90%	90%	90%	90%	90%	〃
			実績値	要望無し	100%	100%	要望無し	100%	

今年度の改善ポイントや重点方向等
 O101 全体として目標は達成しているが、整備面積は減少傾向にある。これは、幹線管きよの整備の割合が増加していることによるもので、今後は整備面積が増加するよう枝線管きよの整備にも努めていきたい。
 O102 目標は達成しているが、荻地区は分譲による所有者不明の私道が多く、今後整備面積の低迷が予想されることから、その対策が課題である。
 O103 目標は達成しているが、要望が少ないことから、当該制度の市民への周知も必要である。

02 水洗化の促進									
手段（4桁コード）内容		管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
0201	イベント等を通じた下水道接続向上のための啓発	「下水道の日」イベント、施設見学回数	目標値	8回/年	8回/年	8回/年	8回/年	8回/年	下水道課
			実績値	11回/年	13回/年	13回/年	11回/年	9回/年	
0202	臨戸訪問によるPR活動	訪問件数	目標値	500件/年	500件/年	500件/年	500件/年	500件/年	〃
			実績値	100件/年	1,053件/年	67件/年	113件/年	69件/年	
今年度の改善ポイントや重点方向等	0201 毎年、小学生等に施設見学を行い、下水道への理解を広め接続向上への啓発を行っており、今後も継続していきたい。								
	0202 下水道の接続促進は、下水道が環境保全に果たす役割を市民に理解していただくことが重要である。これまでは、啓発期間を定め、短期集中で一度に多くの世帯を訪問し下水道接続の奨励をしてきたが、平成30年度からは、年間を通じて継続的に訪問事業を実施しており、生活雑排水が環境に与える影響や下水道の仕組みなどを掲載したチラシを配布するなどして、理解を深めていきたい。								

03 下水道施設の適正管理									
手段（4桁コード）内容		管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
0301	終末処理場・ポンプ場の維持管理	包括委託契約評価	目標値	76点以上	77点以上	77点以上	77点以上	78点以上	下水道課
			実績値	75点	77点以上	77点以上	77点以上	77点	
0302	管きょ施設の維持管理	巡視・点検調査延長	目標値	24.8km/年	24.8km/年	24.8km/年	24.8km/年	24.8km/年	〃
			実績値	24.8km/年	24.8km/年	24.8km/年	24.8km/年	24.8km/年	
0303	終末処理場等、設備の長寿命化対策	長寿命化計画の推進	目標値	2件	2件	2件	2件	2件	〃
			実績値	2件	4件	3件	2件	2件	
0304	管きょ施設の耐震化及び長寿命化対策	更生・改築延長	目標値	613m	515m	695m	622m	447m	〃
			実績値	488m	384m	412m	429m	295m	
0305	下水道に関する市民要望への迅速かつ的確な対応	市民からの苦情等の未処理件数	目標値	0件	0件	0件	0件	0件	〃
			実績値	0件	0件	0件	0件	0件	
今年度の改善ポイントや重点方向等	0301 委託業者に日常報告や定例会議を実施させることにより、終末処理場・ポンプ場の適正な維持管理を行っている。								
	0302 点検・調査の結果を詳細に分析し、管路の破損による道路の陥没事故や管路の閉塞等の防止に努めていきたい。								
	0303 計画に沿って改築等を行い、設備の長寿命化対策に取り組んでいる。								
	0304 目標を下回っているのは、長寿命化対策の中で、マンホール蓋の経年劣化による蓋取替が増加していることにより、管きょの長寿命化が計画どおり進捗していないためである。								
	0305 目標は達成しているが、市民からの苦情には、道路陥没等の前兆現象も含まれることもあるので、対応には更なる迅速性を追求していきたい。								

04 下水道の健全経営（公営企業会計の導入）									
手段（4桁コード）内容		管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
0401	下水道使用料滞納対策の強化	滞納整理実施回数	目標値	2回/年	2回/年	2回/年	2回/年	2回/年	下水道課
			実績値	2回/年	2回/年	2回/年	2回/年	2回/年	
0402	公営企業会計の導入	公営企業会計への移行	目標値	固定資産調査・評価	固定資産調査・評価	固定資産調査・評価	システム構築移行事務	制度移行	〃
			実績値	固定資産調査・評価	固定資産調査・評価、移行事務	固定資産調査・評価、移行事務	システム構築移行事務	制度移行	
0403	接続率向上の推進	新規接続件数	目標値	100件/年	100件/年	100件/年	100件/年	100件/年	〃
			実績値	110件/年	206件/年	73件/年	93件/年	63件/年	
今年度の改善ポイントや重点方向等	0401 滞納者に対する納付催告業務を日中だけでなく、夜間等にも実施するなどし、収納率の向上に努めていく。								
	0402 引き続き、委託業者と連携し、公営企業会計の導入に向けた業務を実施していく。								
	0403 年間を通じて継続的に訪問事業を実施し、生活雑排水が環境に与える影響や下水道の仕組みなどを掲載したチラシを配布するなどして、理解を深めていきたい。								

05 適正な浄化槽の維持管理の推進									
手段（4桁コード）内容		管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
0501	補助制度の周知	回数	目標値	2回/年	2回/年	2回/年	2回/年	2回/年	下水道課
			実績値	2回/年	1回/年	1回/年	1回/年	1回/年	
0502	下水道未整備区域の浄化槽設置補助金の交付（対象区域の拡大）	区域拡大による交付件数	目標値	10基/年	10基/年	10基/年	10基/年	10基/年	〃
			実績値	4基/年	4基/年	1基/年	4基/年	1基/年	
0503	新規浄化槽設置者講習会の開催	対象者出席率	目標値	32%	34%	36%	38%	40%	環境課
			実績値	28%	20%	25%	23%	未実施	
0504	浄化槽パトロールの実施	臨戸訪問による普及啓発件数（累計）	目標値	70件	140件	210件	280件	350件	〃
			実績値	115件	219件	219件	251件	251件	
今年度の改善ポイントや重点方向等		0501 制度改正など新たな周知を要する際には、浄化槽施工業者にも通知し、幅広く周知していく。							
		0502 補助金制度を周知する中で、下水道未整備区域内での補助金交付についても併せて周知していく。							
		0503 東部健康福祉センター生活環境課が実施する事業であり、伊東市では年2回開催されている。伊東市で開催される講習会に参加できない人が、熱海市で開催される講習会に参加できる等、出席率の向上を図っている。							
		0504 浄化槽を適正な状態で維持していくためには、法令に基づく水質検査や保守点検及び清掃等を継続的に実施していくことが重要となる。このため、法定検査の受検、保守点検、清掃等の普及促進について、引き続き、啓発活動を実施する。							

4 市民の皆さんと一緒に進めていく方策

方策	《令和2年度末時点の活動状況》	《令和3年度の改善ポイントや重点方向等》
01 水環境に対する市民の理解促進	<ul style="list-style-type: none"> 家庭から排出される排水（生活雑排水）が河川や海などの公共水域に与える影響を理解してもらったため、下水道未接続世帯を対象にチラシを配布し、下水道が環境保全に果たす役割についての周知に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> 昨年度は、接続促進活動から接続に繋がった事例が4件確認された。 当該活動による大幅な接続件数の増加は難しい状況ではあるが、本年度も現行方法により接続促進事業を展開し、周知に努めていく。

第四次総合計画 第十次基本計画・実施計画（目的指向体系表）

政策目標	2	安全・安心で快適なまち
施策分野	9	良好な住環境の整備
基本計画		建物の安全を確保し、良好な住環境を目指します。

主担当課	建築住宅課
関係課	都市計画課
作成年月日	R3.4.1

1 基本計画の達成状況

基本計画（目標）	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
建物の安全を確保し、良好な住環境を目指します。	民間住宅の耐震化率	目標値	95%	95%	95%	95%	95%	建築住宅課
		実績値	(H25) 77%	(H25) 77%	83%	(H30) 83%	(H30) 83%	
	建築基準法による完了検査実施率	目標値	100%	100%	100%	100%	100%	//
		実績値	98%	94%	91%	88%	89%	
指標の達成度 《今年度実績評価》	<p>昨年度までの民間住宅耐震化率の実績値は、平成25年度に実施した5年毎の土地統計調査結果の数値を採用していたことから、数値の変動が更新されなかったが、令和2年度は平成30年度に実施した土地統計調査結果に基づく実績値の算定式が静岡県から、令和2年5月頃に提供され、その算定式により算出した。このことから、耐震化率の上昇が6%確認され、今後も引き続き補助金の活用を促す啓発や相談対応を継続して進めていくことで、耐震補強の必要性等の周知に努める。</p> <p>完了検査実施率は、「確認申請を提出後、未だ未着工のものもある」ことを考慮すれば、概ね目標値を達成した。</p>							

2 目標を達成するための具体的な方策の進捗状況

目標を達成するための具体的な方策	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
O1 民間建築物の耐震化の推進	耐震診断の実施率	目標値	15%	15%	15%	15%	15%	建築住宅課
		実績値	12%	12%	12%	13%	13%	
O2 建築物の完了検査実施の推進	完了検査実施率	目標値	100%	100%	100%	100%	100%	//
		実績値	98%	94%	91%	88%	89%	
O3 民間建築物アスベスト対策の推進	撤去等工事件数	目標値	2件	2件	2件	2件	2件	//
		実績値	0件	0件	0件	0件	0件	
O4 市営住宅の維持・管理	削減戸数	目標値	12戸	12戸	5戸	7戸	5戸	//
		実績値	14戸	12戸	11戸	12戸	9戸	
O5 空家等に関する施策の実施	解体撤去の件数	目標値	10件	10件	10件	10件	10件	都市計画課
		実績値	5件	7件	10件	16件	16件	
指標の達成度 《今年度実績評価》	<p>O1 耐震診断実施率の実績値は、令和元年度と同様、概ね目標値を達成した。</p> <p>O2 完了検査実施率は、「確認申請を提出後、未だ未着工のものもある」ことを考慮すれば、概ね目標値を達成した。</p> <p>O3 アスベスト撤去等に対する補助事業が平成28年度にて終了したこともあり、アスベスト対策は未達成であった。</p> <p>O4 用途廃止した簡易耐火構造住宅1棟（5戸）及び木造戸建住宅4戸を解体することで、目標値を達成した。</p> <p>O5 景観を阻害する廃屋が撤去され、良好なまち並み景観が図られるとともに設定した目標値を達成した。</p>							

3 具体的な方策を構成する手段の進捗状況

O1 民間建築物の耐震化の推進								
手段（4桁コード）内容	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
O101 地震対策の啓発及び相談業務	啓発回数	目標値	5回	6回	6回	6回	6回	建築住宅課
		実績値	11回	9回	6回	6回	6回	
O102 既存木造住宅の無料耐震診断の実施	件数	目標値	50件	50件	50件	50件	50件	//
		実績値	73件	60件	43件	37件	27件	
O103 既存木造住宅耐震補強工事の推進	補助金申請件数	目標値	20件	20件	20件	20件	20件	//
		実績値	23件	46件	23件	24件	25件	
今年度の改善ポイントや重点方向等	<p>O101 広報いとうへの掲載及びDM並びに個別訪問などにより、補助金の活用に対する周知や丁寧な相談業務に努める。</p> <p>O102 耐震補強の必要性や補助金の活用に対する啓発を継続して進めていくことで、無料耐震診断実施件数の更なる増加を図る。</p> <p>O103 補助金の増額制度を積極的に啓発することで、耐震補強工事実施件数の更なる増加を図る。</p>							

O2 建築物の完了検査実施の推進								
手段（4桁コード）内容	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
O201 検査申請の啓発	啓発及び通知	目標値	確認件数	確認件数	確認件数	確認件数	確認件数	建築住宅課
		実績値	確認件数	確認件数	確認件数	確認件数	確認件数	
O202 検査未申請の建築物への対応（パトロール等）	パトロール回数	目標値	2回	2回	2回	2回	2回	//
		実績値	2回	2回	2回	2回	2回	
今年度の改善ポイントや重点方向等	<p>O201 完了検査の必要性や意義の啓発に努めることで、完了検査の実施につなげていく。</p> <p>O202 情報収集や巡回パトロール等を継続して努めることで、完了検査の実施につなげていく。</p>							

O3 民間建築物アスベスト対策の推進								
手段（4桁コード）内容	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
O301 アスベスト対策の啓発及び相談業務	啓発回数	目標値	2回	2回	2回	2回	2回	建築住宅課
		実績値	1回	0回	0回	0回	0回	
今年度の改善ポイントや重点方向等	<p>O301 アスベスト撤去等に対する補助事業は平成28年度で終了したものの、引き続き、工夫しながら啓発や相談対応に努めていく。</p>							

04 市営住宅の維持・管理									
手段（4桁コード）内容		管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
0401	耐用年数経過住宅等の解体	戸数	目標値	12戸	12戸	5戸	7戸	5戸	建築住宅課
			実績値	14戸	12戸	11戸	12戸	9戸	
0402	既存住宅の改修（性能向上事業）	棟数	目標値	3棟	8棟	4棟	3棟	3棟	〃
			実績値	3棟	9棟	5棟	5棟	4棟	
0403	耐用年数経過住宅から他の住宅への移転	戸数	目標値	1戸	1戸	1戸	1戸	1戸	〃
			実績値	0戸	0戸	0戸	0戸	0戸	
今年度の改善ポイントや重点方向等	0401 耐用年限が既に経過した老朽住戸は順次、解体・撤去することで、市営住宅建物の安全性や良好な住環境の確保を図る。								
	0402 施設の性能向上を目指した改良工事を実施することで、既存ストック施設の長寿命化を図る。								
	0403 耐用年限が経過し老朽化が進む住宅の入居者に対しては、引き続き他の住宅への住み替えを積極的に促す。								

05 空家等に関する施策の実施									
手段（4桁コード）内容		管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
0501	空家相談	改善率	目標値	30%	30%	30%	30%	30%	建築住宅課
			実績値	28%	31%	38%	38%	38%	
今年度の改善ポイントや重点方向等	0501 <ul style="list-style-type: none"> 空家等対策を所有者等へ継続して啓発する。 空家等の所有者などを特定する過程において、市顧問弁護士と連携を図り、訴訟等に発展しないよう最善を図る。 空家等が存在する行政区及び町内会並びに分譲地自治会等と連携し、空家等対策に向けた推進に努める。 公益社団法人静岡県宅地建物取引業協会と締結した協定に基づき、空家等の利活用の促進に努める。 								

4 市民の皆さんと一緒に進めていく方策

方策	《令和2年度末時点の活動状況》	《令和3年度の改善ポイントや重点方向等》
01 住環境の安全性の向上	<ul style="list-style-type: none"> 大規模地震による被害を減少させるため、民間住宅の耐震化についての広報や啓発を実施することで、補助事業等による住宅の安全性向上を推進した。 空家等の所有者を特定するための調査を実施するとともに、所有者に対して建物の維持管理についての啓発及び指導を進めた。 老朽危険空家等において、改善を求める指導を数年に渡り、継続して行ってきた結果、解決に至ることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 昭和56年以前に建設された民間住宅に対し、継続して耐震補強の必要性を促し、推進していく。 平成30年度に実施した空家等実態調査において、現地調査まで至っていない空家等の確認作業を、継続的に努めていく。 空家等と考えられる建物等の所有者に対し、対応を目的としたパンフレットの送付を推進することで、老朽危険空家等に進む前の段階における、空家等対策を検討していただけるよう促していく。

第四次総合計画 第十次基本計画・実施計画（目的指向体系表）

政策目標	2	安全・安心で快適なまち
施策分野	10	潤いと活気のあるまちづくり
基本計画	地域特性をいかした安全で快適な市街地を形成するとともに、良好な街並み景観を目指します。	

主担当課	都市計画課
関係課	市民課・観光課
作成年月日	R3.4.1

1 基本計画の達成状況

基本計画（目標）	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
地域特性をいかした安全で快適な市街地を形成するとともに、良好な街並み景観を目指します。	本市の景観が好ましいと感じる市民の割合	目標値	64%	64%	64%	64%	64%	都市計画課
		実績値	57.9%	58.6%	57.1%	55.5%	58.3%	
指標の達成度 《今年度実績評価》	市民満足度調査において、本市の景観が好ましいと感じられる市民の割合が目標値に至らなかった。今後、景観が好ましいと感じられるよう景観計画の改訂を行っていく。							

2 目標を達成するための具体的な方策の進捗状況

目標を達成するための具体的な方策	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
O1 中心市街地の活性化の推進	湯の花通り・キネマ通りの平均歩行者数	目標値	1,840人	1,840人	1,840人	1,840人	1,840人	都市計画課
		実績値	1,660人	1,840人	1,840人	1,840人	1,840人	
O2 自然環境をいかした憩いの場の整備	市民1人当たりの公園面積	目標値	8.3㎡	8.3㎡	8.4㎡	8.4㎡	8.5㎡	〃
		実績値	8.3㎡	8.5㎡	8.6㎡	8.8㎡	8.8㎡	
O3 個性的で魅力あふれる景観の形成と保全	景観が好ましいと感じる市民の割合	目標値	64%	64%	64%	64%	64%	〃
		実績値	57.9%	58.6%	57.1%	55.5%	58.3%	
O4 伊東駅周辺地区のにぎわいの演出	伊東駅周辺地区整備計画の進捗率	目標値	10%	10%	10%	30%	30%	〃
		実績値	0%	0%	0%	3%	3%	
O5 土地利用の健全化	土地の使い方が良いと感じる市民の割合	目標値	59%	59%	59%	59%	59%	〃
		実績値	54.3%	57.3%	54.0%	48.4%	47.5%	
O6 伊東市営霊園の整備推進	霊園整備面積（㎡）	目標値	21,053.52	22,809.52	22,809.52	22,809.52	23,677.12	市民課
		実績値	22,103.12	22,809.52	22,809.52	22,809.52	22,809.52	
指標の達成度 《今年度実績評価》	O1	湯の花通り・キネマ通りの平均歩行者数は目標に達している。引き続き、まちづくり市民団体と協働による伊東大川の河川清掃など、中心市街地の活性化に資する事業を進めていく。						
	O2	条例では、市民1人当たりの公園面積は10㎡以上としており、条例の目標を考慮し公園整備を進めていく。						
	O3	景観が好ましいと感じる市民の割合が目標を下回ったことから、今後、建築物や工作物の制限内容など、伊東市景観計画等の見直しの検討を行う。						
	O4	新型コロナウイルス感染症の影響により駅前広場整備検討委員会を思うように開催することができず、伊東駅前広場の基本設計をまとめることができなかったため、進捗率は目標に至らなかった。						
	O5	土地の使い方が良いと感じる市民の割合が目標を下回ったことから、今後も開発事業者に対し指導を行い、健全な土地利用を目指す。						
	O6	新たな施設の整備はなかったが、合葬墓施設建設を踏まえた第3期計画の基礎となる基本設計を作成した。						

3 具体的な方策を構成する手段の進捗状況

O1 中心市街地の活性化の推進									
手段（4桁コード）	内容	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
O101	道路におけるバリアフリー化の推進	移動円滑化基本構想に基づく市道の整備率	目標値	80%	85%	90%	95%	100%	都市計画課
			実績値	71.5%	71.5%	100.0%	100.0%	100.0%	
O102	市街地の道路整備	都市計画道路の整備率	目標値	59%	59%	59%	59%	60%	〃
			実績値	59%	59%	59%	59%	59%	
O103	官民協働で行う魅力あるまちづくりの活動	活動件数	目標値	3件	3件	3件	3件	3件	〃
			実績値	3件	3件	3件	3件	3件	
今年度の改善ポイントや重点方向等	O101 移動円滑化基本構想に基づく市道の整備延長の見直しがあり、平成30年度で事業が完了した。								
	O102 都市計画道路伊東大仁線の街路事業を実施しており、地権者の協力を得ながら事業を進めていく。								
	O103 活動件数は目標を達成した。引き続き、官民協働でまちづくり活動を進めるとともに、新たな取組を検討していく。								

O2 自然環境をいかした憩いの場の整備

手段（4桁コード）	内容	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
O201	憩いの場、子育てとしての公園や緑地の整備	公園としての整備や改修を行った箇所数	目標値	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	都市計画課
			実績値	3箇所	2箇所	5箇所	9箇所	10箇所	
O202	公園や緑地の保全	公園整備に対する不満の割合	目標値	10%以下	10%以下	10%以下	10%以下	10%以下	〃
			実績値	20.1%	20.8%	19.5%	18.1%	18.7%	
O203	開発による緑地（オープンスペース）の確保	緑地の箇所数	目標値	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	〃
			実績値	1箇所	1箇所	0箇所	1箇所	1箇所	
O204	観光施設としての都市公園の整備・管理	テニスコート・グラウンドの利用者数	目標値	40,800人	40,800人	41,200人	41,600人	42,000人	観光課
			実績値	42,908人	39,176人	42,219人	43,765人	23,922人	
今年度の改善ポイントや重点方向等	O201 憩いの場、子育てのしやすい場の提供のため、あらたな遊具の設置や修繕等を行っていく。								
	O202 公園の整備等の要望を確認し、必要な整備を図っていく。								
	O203 開発による緑地の確保は目標を達成した。引き続き、緑地が確保されるよう開発事業者に対し指導していく。								
	O204 新型コロナウイルス感染症の影響により大きく利用者数が減少した。利用者への感染予防対策の徹底を案内していくとともに、感染症の状況を注視する中で、利用者数の回復を図っていく。								

O3 個性的で魅力あふれる景観の形成と保全									
手段（4桁コード）	内容	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
0301	景観条例の適正指導	届出件数	目標値	20件	20件	20件	20件	20件	都市計画課
			実績値	21件	18件	19件	13件	16件	
0302	屋外広告物の適正化	パトロール回数	目標値	12回	12回	12回	12回	12回	〃
			実績値	10回	10回	7回	31回	21回	
0303	景観を阻害する廃屋の解体撤去支援	補助金交付件数	目標値	10件	10件	10件	10件	10件	〃
			実績値	6件	7件	10件	16件	16件	
今年度の改善ポイントや重点方向等	0301 届出件数の減少により適正指導の件数が目標を下回ったが、引き続き良好な景観を図るため適正な指導を行う。								
	0302 東京五輪開催までに主要道路の野立看板の「違反広告物ゼロ」の目標を掲げ、違反物件が開催までになくなるよう是正指導を行う。								
	0303 申請に対する適正な指導を行う。								

O4 伊東駅周辺地区のにぎわいの演出									
手段（4桁コード）	内容	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
0401	伊東駅前広場整備の計画	進捗率	目標値	10%	10%	10%	30%	30%	都市計画課
			実績値	0%	0%	0%	3%	3%	
0402	伊東駅前A地区整備の計画	進捗率	目標値	10%	10%	10%	30%	30%	〃
			実績値	0%	0%	0%	3%	3%	
今年度の改善ポイントや重点方向等	0401 伊東駅前広場整備検討委員会の委員長と相談しながら、早急に検討委員会を開催し、関係する方々と合意形成を図りながら基本設計をまとめる。								
	0402 地権者への戸別訪問を引き続き行い、協議を重ねA地区の土地活用を検討する。								

O5 土地利用の健全化									
手段（4桁コード）	内容	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
0501	土地利用の方針に沿った開発指導	申請件数	目標値	10件	10件	10件	10件	10件	都市計画課
			実績値	7件	10件	14件	3件	9件	
0502	宅地造成等規制の適正化	パトロール回数	目標値	12回	12回	12回	12回	12回	〃
			実績値	12回	12回	12回	12回	12回	
0503	用途地域による規制誘導	宅地等の並びが優良な状況と認識している市民の割合	目標値	15%	15%	15%	15%	15%	〃
			実績値	13.4%	15.5%	11.2%	11.6%	10.4%	
今年度の改善ポイントや重点方向等	0501 民間の開発事業者に対し、秩序ある開発事業となるよう土地利用事業等の適正化に関する指導要綱の趣旨を説明し、理解が得られるよう努める。								
	0502 パトロールを実施し、宅地造成等規制法に基づく違反を監視するとともに、違反案件には適切に指導を行い造成工事の適正化を図る。								
	0503 用途地域内での適切な土地利用を誘導し、良好な住環境の向上を図る。								

O6 伊東市営霊園の整備推進									
手段（4桁コード）	内容	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
0601	霊園墓所の整備	墓所整備区画数	目標値	1,828区画	1,936区画	1,936区画	1,936区画	2,064区画	市民課
			実績値	1,828区画	1,936区画	1,936区画	1,936区画	1,936区画	
今年度の改善ポイントや重点方向等	0601 合葬施設建設を踏まえた第3期計画の基礎となる基本設計を作成した。引き続き実施設計を作成する。								

4 市民の皆さんと一緒に進めていく方策		
方策	《令和2年度末時点の活動状況》	《令和3年度の改善ポイントや重点方向等》
01 市民との協働による中心市街地活性化の促進	<ul style="list-style-type: none"> 松川周辺地区まちづくり推進協議会と協働で、松川（伊東大川）の清掃作業を実施した。 また、伊東大川と寺田川との合流部における修景整備に関し、河川管理者である熱海土木事務所と勉強会を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、松川周辺地区まちづくり推進協議会や熱海土木事務所と協働で松川（伊東大川）の清掃作業等を行うとともに、伊東市を訪れる観光客に本市の魅力を伝えるための情報発信の一つとして「まちの由来説明サイン設置事業」の実現に向け、まちづくり団体と取り組む。

第四次総合計画 第十次基本計画・実施計画（目的指向体系表）

政策目標 2	安全・安心で快適なまち
施策分野 11	公共交通体系の充実
基本計画	便利で災害に強い公共交通体系の充実を目指します。

担当課	都市計画課
関係課	—
作成年月日	R3.4.1

1 基本計画の達成状況

基本計画（目標）	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
便利で災害に強い公共交通体系の充実を目指します。	生活路線バスの年間乗車人員（人）	目標値	215,000	215,000	215,000	215,000	215,000	都市計画課
		実績値	217,707	207,939	196,628	235,948	156,504	
指標の達成度 《今年度実績評価》	生活路線バスによる年間乗車人数は、新型コロナウイルス感染症の影響により目標には至らなかった。市民の交通に対するニーズを把握し、生活路線バスの運行改善を事業者とともに図り、運行本数等の維持、利用者数の維持に努める。							

2 目標を達成するための具体的な方策の進捗状況

目標を達成するための具体的な方策	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
O1 地域公共交通の利便性向上・安全性確保	公共交通に対し満足している市民の割合	目標値	40%	40%	40%	40%	40%	都市計画課
		実績値	32.6%	35.6%	34.6%	31.7%	35.3%	
O2 緊急避難路や輸送路の確保のための港湾整備の推進	伊東港年間利用者数	目標値	8,000人	8,000人	8,000人	8,000人	8,000人	〃
		実績値	8,196人	9,473人	7,653人	—	—	
指標の達成度 《今年度実績評価》	O1 地域公共交通の利便性向上・安全性確保については、バス、電車の運行本数の維持を図り、バス事業者のスクールバスなどの取組により満足度が上がるも目標には至らなかった。市民の交通に対するニーズの把握に努め、地域交通網形成計画の具体的取組を実施し満足度の向上に努める。							
	O2 緊急避難路や輸送路の確保のための港湾整備の推進としては、伊東港初島航路の定期航路の乗船者数を対象としていたが、平成31年3月に廃止され定期航路がなくなり指標がなくなった。今後の港湾整備について新たな指標を検討する。							

3 具体的な方策を構成する手段の進捗状況

O1 地域公共交通の利便性向上・安全性確保								
手段（4桁コード）内容	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
O101 生活路線バス運行事業	運行路線・本数	目標値	11路線・61本	11路線・61本	11路線・61本	11路線・61本	11路線・61本	都市計画課
		実績値	11路線・61本	11路線・61本	11路線・61本	11路線・61本	11路線・61本	
O102 生活路線バス等の運行改善	地域公共交通会議の開催数	目標値	2回	2回	2回	2回	2回	〃
		実績値	2回	2回	4回	1回	1回	
O103 鉄道施設の安全性確保	伊豆急線谷津トンネル老朽化対策事業進捗率	目標値	80%	90%	100%	100%	100%	〃
		実績値	80%	90%	100%	100%	100%	
今年度の改善ポイントや重点方向等	O101 生活路線バス運行事業については、運行本数等の維持を図り事業者とともに利用者の維持に努めた。							
	O102 生活路線バス等の運行改善については、市内路線バスの維持、見直しなど地域交通網形成計画の取組みを実施し、生活路線バスの運行改善を図り、地域公共交通活性化協議会は新型コロナウイルス感染症対策のため書面開催を行い1回の開催となった。地域交通網形成計画の取組みを実施し、生活路線バスの運行改善を図る。							
	O103 伊豆急行線谷津トンネル改修については平成30年度完了し、目標は達成された。							

O2 緊急避難路や輸送路の確保のための港湾整備の推進								
手段（4桁コード）内容	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
O201 白石防波堤延伸事業	年度別進捗率	目標値	25%	50%	75%	90%	100%	都市計画課
		実績値	18%	28%	40%	40%	65%	
O202 港湾施設改修事業	改修箇所数	目標値	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	2箇所	〃
		実績値	3箇所	1箇所	3箇所	2箇所	3箇所	
O203 伊東港整備のための国・県への働きかけ	要望等回数	目標値	2回	2回	2回	2回	2回	〃
		実績値	1回	1回	1回	1回	1回	
今年度の改善ポイントや重点方向等	O201 伊東サンライズマリーナ ボートヤード護岸等の被災軽減のため実施する白石防波堤延伸事業については、平成28年度から本格的な工事に着手した。目標年度に完成が見込めるよう県に働きかけていく。							
	O202 伊東港における港湾施設の改修については、白石防波堤事業以外1箇所である。長寿命化計画などの事業も並行して実施しており、港湾施設の計画的な維持・管理に努めていく。							
	O203 港湾整備のため行う国・県要望については、機会のあるごと実施できる体制とする。							

4 市民の皆さんと一緒に進めていく方策

方策	《令和2年度末時点の活動状況》	《令和3年度の改善ポイントや重点方向等》
O1 地域の実情に応じた公共交通の検討	<ul style="list-style-type: none"> 地域公共交通活性化会議は、地域の実情に応じたバスの運行を検討する会議であり、令和元年度について1回の開催であった。 地域が主体の交通手段を検討する取組に参加し、意見交換を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域公共交通網形成計画の具体的取組みにある利用促進に向けた取組、地域公共交通の確保、充実などの取組を実施し、市内の公共交通の活性化を図っていく。

第四次総合計画 第十次基本計画・実施計画（目的指向体系表）

政策目標	2	安全・安心で快適なまち
施策分野	12	道路環境の整備
基本計画		円滑・安全・安心・快適な道路環境を目指します。

担当課	建設課
関係課	—
作成年月日	R3.4.1

1 基本計画の達成状況

基本計画（目標）	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
円滑・安全・安心・快適な道路環境を目指します。	道路整備について満足している市民の割合	目標値	47.80%	48.80%	49.80%	50.80%	51.80%	建設課
		実績値	47.70%	44.20%	51.40%	43.60%	47.40%	
	幹線市道の整備率	目標値	94.30%	94.80%	95.30%	95.80%	96.30%	〃
		実績値	94.21%	94.66%	95.23%	95.67%	95.71%	
指標の達成度 《今年度実績評価》	<ul style="list-style-type: none"> 市民からの要望に対する素早い対応及び幹線道路の整備を推進したが、目標の満足度を得られなかった。 用地取得が困難なことにより、幹線市道の整備が目標値を下回った。 							

2 目標を達成するための具体的な方策の進捗状況

目標を達成するための具体的な方策	管理指標		H28	H29	O事業所	R1	R2	担当課
O1 円滑な道路環境の整備	幹線市道の整備率	目標値	94.30%	94.80%	95.30%	95.80%	96.30%	建設課
		実績値	94.21%	94.66%	95.23%	95.67%	95.71%	
O2 安全・安心な道路環境の整備	道路瑕疵による事故発生件数	目標値	0件	0件	0件	0件	0件	〃
		実績値	0件	0件	1件	1件	2件	
O3 快適な道路環境の整備	歩道のバリアフリー化路線数	目標値	4路線	累計8路線	累計12路線	累計16路線	累計20路線	〃
		実績値	4路線	累計8路線	累計10路線	累計10路線	累計12路線	
指標の達成度 《今年度実績評価》	O1 用地取得が困難なことにより、幹線市道の整備が目標値を下回った。							
	O2 バトロール等により、危険個所の早期対応に努めたが、2件の道路瑕疵事故が発生し目標を下回った。							
	O3 道路と民地側の高さの状況により、歩道のバリアフリー化が困難な状況があり、整備の進捗が遅れ目標値を下回った。							

3 具体的な方策を構成する手段の進捗状況

O1 円滑な道路環境の整備								
手段（4桁コード）内容	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
O101 道路交通量の把握	交通量調査実施回数	目標値	随時	随時	随時	随時	随時	建設課
		実績値	随時	随時	随時	随時	随時	
O102 市道の利用に対する市民の声の把握	要望件数	目標値	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	〃
		実績値	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	
O103 幹線市道の計画的な整備	整備延長	目標値	累計87.16km	累計87.62km	累計88.08km	累計88.54km	累計88.98km	〃
		実績値	累計87.05km	累計87.47km	累計88.00km	累計88.40km	累計88.44km	
O104 渋滞の緩和対策の検討	県への要望（要望書として）	目標値	随時	随時	随時	随時	随時	〃
		実績値	随時	随時	随時	随時	随時	
今年度の改善ポイントや重点方向等	O101 道路整備の事前調査として、必要に応じ随時交通量調査を実施する。							
	O102 道路の要望に対する早期対応により、安全な道路環境に努める。							
	O103 全体計画に基づき幹線市道の整備を行う。							
	O104 国県道の渋滞緩和のため、県へ道路改良等の要望を行う。							

O2 安全・安心な道路環境の整備

手段（4桁コード）内容	管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
O201 安全・安心な道路環境の整備	防護柵（ガードレール）、標識等の交通安全施設の設置件数	目標値	10件	累計20件	累計30件	累計40件	累計50件	建設課
		実績値	8件	累計37件	累計55件	累計72件	累計73件	
O202 路面の破損箇所等の早期発見、早期補修	道路パトロール実施回数	目標値	随時	随時	随時	随時	随時	〃
		実績値	随時	随時	随時	随時	随時	
O203 舗装長寿命化のための計画的な修繕	修繕延長	目標値	300m	累計600m	累計900m	累計1,200m	累計1,500m	〃
		実績値	359m	累計833m	累計833m	累計1,373m	累計2,995m	
O204 橋りょう長寿命化のための計画的な修繕	修繕橋りょう数	目標値	4橋	累計7橋	累計10橋	累計12橋	累計14橋	〃
		実績値	3橋	累計5橋	累計11橋	累計12橋	累計12橋	
今年度の改善ポイントや重点方向等	O201 住民からの要望等による危険個所について、警察と協議し交通安全施設の設置を行う。							
	O202 バトロール等による日常的な維持管理を適正に行い、道路瑕疵による事故防止に努める。							
	O203 舗装劣化路線において、工法選定を含めた年次計画により舗装改良等を行い、舗装の長寿命化を図る。							
	O204 橋梁点検結果に基づいた道路橋個別施設計画により、計画的な橋梁修繕を行う。							

03 快適な道路環境の整備									
手段（4桁コード）内容		管理指標		H28	H29	H30	R1	R2	担当課
0301	歩道のバリアフリー化の促進	バリアフリー化路線数	目標値	4路線	累計8路線	累計12路線	累計16路線	累計20路線	建設課
			実績値	4路線	累計8路線	累計10路線	累計10路線	累計12路線	
0302	歩道のバリアフリーに関する市民の声の把握	局所的な歩道のバリアフリー化	目標値	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	//
			実績値	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	適正処理	
今年度の改善ポイントや重点方向等		0301 高齢者及び障がい者利用施設の周辺において現地調査を行い、歩道のバリアフリー化を図る。							
		0302 市民の意見により現地調査を行い、歩道等の段差解消等に努める。							

4 市民の皆さんと一緒に進めていく方策		
方策	《令和2年度末時点の活動状況》	《令和3年度の改善ポイントや重点方向等》
01 市民と市との協働による道路の維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ・伊東市公共施設の里親制度(アダプトシステム)同意団体等に環境美化活動に必要な用具を支給、貸与するなどによる道路環境整備を図った。 ・また、県(アダプトロードプログラム制度)と連携、協力し道路愛護思想の向上に努めた。 ・私道については、道路管理者に原材料等を支給し、協働による維持管理を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・里親制度(アダプトシステム)同意団体等に環境美化活動に必要な用具を支給、貸与などによる道路環境整備を継続的に実施する。 ・また、県・国道については、アダプトロードプログラム制度への登録を奨励し、道路愛護思想の向上に努める。 ・私道についても、道路管理者に原材料等を支給を継続し、協働による維持管理を図る。